

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502181		
法人名	株式会社 グローバルケアマネジメント		
事業所名	ポテトタウン南の沢		
所在地	札幌市南区南沢1822-63		
自己評価作成日	令和1年11月5日	評価結果市町村受理日	令和1年12月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502181-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	令和1年11月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ポテトタウン南の沢は自然豊かな閑静な住宅地に位置しています
近隣には大学があり、ラベンダー祭り・吹奏楽・コンサート・多種多様な催しが行われております
又、地域では、南沢神社祭り・十勝マルシェ・雪の祭典・等が行われ、その都度、利用者様、職員で
出向き、時には参加、時には祭りを楽しむ等し、ポテト新聞を書き込み家族に発信し、なおかつ来客
様に施設内に掲示している写真を見せてお知らせしています。又、天気の良い日は散歩、外気浴を
行い、体操や間違い探し、パズル等行っており、日々安心して暮らせる日常生活に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

札幌市郊外の自然豊かな住宅地にある2階建て1ユニットのグループホームである。近くに小学校や社会福祉施設、
福祉会館があり、バス停も近い。建物は家庭的な造りで、1階に居間と食堂、2階の中心部はホールがあり、各階に
広めのトイレが2か所設置されている。壁に季節の装飾や利用者、家族の作品、行事の写真を飾り、親しみやすい雰
囲気となっている。また、入浴やマッサージの予定を掲示し、利用者が意識できるようにしている。地域交流の面
では、南沢福祉会館での、ふれあいサロン、健康まつり、餅つきなどに利用者に参加して住民と交流している。複数の住
民が犬の散歩で事業所前を訪れ、犬の名前を覚えた利用者もいる。馴染みの関係継続の面では、ほとんどの利用者
に友人や知人が来訪し、手紙や電話のやり取りも継続できるよう支援している。ケアマネジメントの面では、介護計画
の更新にあたっての見直しの手順や書類が分かりやすく整備されている。外出支援の面では、暖かい時期は日常的
に周辺を30分程度散歩している。また、外出行事が毎月のようにあり、小樽や厚田、苫小牧、伊達など遠方にも出か
け、季節の風景を楽しんでいる。温かな支援のもと利用者が日々の生活を楽しむことができるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・リビング・休憩室・事務所に理念を掲げ、常に職員の目が届くよう配置している。又、月例会で理念を唱和し、入居者様に穏やかな暮らしができる様、地域と連携を密にし良好な関係を築いています	開設時に作った3項目からなる独自の理念の中に「住み慣れた地域での安心した暮らし」という文言があり、地域密着型サービスの意義を踏まえている。理念は玄関や共用スペースに掲示され、月例会で唱和し共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会、民生委員の方々は行事を多く活動されており連携を密にして積極的に参加し、交流を深めています	南沢福祉会館での、ふれあいサロン、健康まつり、餅つきなどに利用者と参加し、地域の住民や乳幼児、児童などと交流している。事業所のバーベキューに住民の参加がある。住民が犬の散歩で事業所前を訪れ、利用者と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議に参加されている民生委員、抱括の方々へ声掛けをお願いし、地域の方々に認知症の理解を深めるお話の場を設けております		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域抱括様より地域の方々に認知症についての理解や接し方などのお話の場を設けるなど行っております。	会議を2か月ごとに開催し、地域包括支援センター職員、民生委員、利用者家族の参加を得て、行事や身体拘束、虐待などをテーマに意見交換している。今後は、より幅広いテーマの設定を検討している。議事録を家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者に連絡し、入居者様の病状を伝え病院を紹介して頂いたケースもあります。又、事業主、管理者は積極的に市に電話し、時には出向き積極的に協力関係を築く様取り組んでおります	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加を得て情報提供を受けている。管理者は市や区の管理者会議に参加し、行政担当者と情報交換している。区役所から紹介された新たな利用者の受け入れを行った例もある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様個々の自由な生活が当たり前と考え、日々抑制や拘束のないケアを行っております。身体拘束の研修も毎月の月例会で行っており、推進会議で報告し、参加されている方にも意見を聞き職員と更に深めていっています	身体拘束は行われておらず、禁止の対象行為を示したマニュアル(指針)を用意し、年に3~4回、勉強会を行っている。2か月ごとの運営推進会議に合わせて適正化委員会も開催している。玄関は防犯のため施錠しているが、利用者も中から簡単に開錠し、出入りすることができる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に研修会や講習会に積極的に参加し、その後内部研修を行い意識を高めている		

ポテトタウン南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は未だ発生してない為実行例はありませんが、講習会などで勉強し、職員に報告している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時以前から、ご家族様にお話しし、更に契約時にわからない内容があれば納得が行くまで説明し、内容変更、改正があればご家族に連絡し、了解を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・意見に関しては、ご家族と話す機会がある時、事前に、今何かしてほしい事があるか、又どこか直して欲しい所があるかお話ししています。良い関係を築いていると感じている為、苦情はないが今後発生した時は改善の方向に向け努力していきます	家族の来訪の際に話し、家族の意向を概ね把握できている。家族から得られた意見はホーム日誌や生活記録に記載し共有しているが、利用者ごとの家族ノートの作成も検討中である。毎月を目処にホーム便りを作成し、利用者ごと欄を設け、様子を記載している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に職員の要望・疑問等を受け入れています。時には個人的に、時には全体で話し合う機会を常にかけており改善する努力に努めています。	月1回の月例会があり、職員が活発に意見交換している。職員は普段から管理者と気軽に話し合いの場を持っている。各職員は行事や避難訓練の運営を分担したり、室内装飾や備品管理などの役割を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与・労働時間の改善等は自由に意見・提言を行える環境になっており、常に働きやすい環境になる様努力に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	極力時間の許す限り研修には参加し、月例会等で勉強会を設け職員の質の向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域抱括様、管理者会議等の交流の場で情報を聞き入れ質の向上に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時間の許す限り一人・一人に寄り添い傾聴しより良い関係になるよう努めております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご安心して頂けるよう、ご家族様の思いをよくお聞きし、できること、難しい事でも、どれだけご家族様の思いに近づけるかご家族様が本当に納得するまでお話しを聞き信頼関係を作れるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様の体調、精神状態、好み、要望などを聞き入れ理解し、みんなでその情報を共有し、対応する様に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活をしているという気持ちで支援しています。掃除や畑仕事、食器拭きなど一緒に行ったり時にはアドバイスを頂くなど常に暮らしを共にする同氏の関係を気づいております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通院、外泊、外出、外食等のサポートや、行事の参加、時折電話をかけて頂く様お願いしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親しい人との電話や、手紙のやり取り、会いに来てもらう等交流が途切れない様努めております。	ほとんどの利用者に友人や知人が来訪し、中には本州や富良野など遠方から訪ねてくる友人もいる。手紙や電話のやり取りも継続できるよう支援している。近くの南沢福祉会館での楽しみごとに参加し、会館が馴染みの場所になっている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日に何度かはリビングに集まり、テレビを視ながら利用者様同士会話をしています。		

ポテトタウン南の沢

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	実施状況	実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様が来所された時や、電話等で近況の報告をして頂いたり利用者様の暮らしていた場所に出向きます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の思いを聞き。必要とあればその都度実現できるよう努めている	思いや意向の把握が難しい場合は、表情や過去の経験から把握している。フェイスシート、身体状態のチェックシート、センター方式のB-3シートを作成し、B-3シートへの追記も行っている。	身体状態のチェックシートについても、利用者の状態の変化を見ながら、定期的に追記や更新を行うことを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の好みを聞き希望に合わせて環境を整えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の過ごし方、身体状況を把握し、いつもと違う様だと管理者、職員に報告し、全員が把握できるよう努める		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	短期・長期の目標は担当者に記入してもらい、モニタリング作成時にすり合わせ介護計画作成に記入し、それに沿って努めています。	介護計画を3か月ごとに更新している。カンファレンスの話し合いをもとにケアプラン評価表を作成し、次の計画を作成している。日々の記録用紙に個々の計画目標を印刷し、該当番号を記入したり、利用者の変化を記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のミーティングで報告し月に1度の月例会で総合的に検討、把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急受診や買い物等個々に合わせて柔軟に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域町内会・民生委員様等情報を頂き、出向いたり、行事等を行う際は率先して声掛けをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族が受診・薬についての要望・疑問があれば、主治医に相談し理解していただいている	ほとんどの利用者は協力医による往診を受け、1名の方と内科以外は家族が通院を支援している。受診内容を「往診・受診報告書」に記載して共有するとともに、1か月分の受診状況(主治医の所見)を作成して家族に郵送している。	

ポテトタウン南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康状態の報告、又変化があれば即相談し適切な処置をしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	24時間体制の医療機関であり、入退院時は、スムーズに行いこちらの思いを聞き入れて頂ける信頼関係に築いています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所のさい前もってご家族へ終末期の思いを聞き入れできるだけその思いに沿って近づける様、医療機関とも相談しながら努めています	重度化した場合や看取りの対応について、現状、ホームでは難しい旨を利用開始時に説明している。重度化した場合は適切な医療機関や特養等の他の施設を紹介し、利用者や家族が困らないようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルが用意されており、緊急発生した場合近隣に住む職員が動ける体制になっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練・避難訓練を定期的に消防署の協力を得て行い職員全員の把握に努めております。	年2回、近くの関連施設職員の参加を得て昼夜を想定した避難訓練を実施し、数回に1回は消防署の指導を受けている。また、災害マニュアルや備蓄品も整えている。一方、職員の救急救命訓練の受講は受講後、期間の空いている職員もいる。	全職員が3年に1回程度、救急救命訓練を受講できるよう、計画的な取り組みを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の居室に訪室の際は入室時必ず戸を閉めて話を聞く、又排泄等もここに沿った配慮を時には、パーティションを設置するなどプライバシーを確保しております	利用開始時に家族と本人の意向を確認し、名前は今まで親しんできた呼び方にしている。不適切な対応や声かけがあれば、その都度職員間で話し合っている。書類は事務所で適切に保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々で好みの服装、外食など本人の希望に沿って注文しております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様が常に何を望んでいるのかを常に考え本人の希望に沿う様常に心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の思いを聞き、必要とあればその都度実現できるよう努めている希望に沿って理美容のカットを行ったり洋服を購入するなどその人らしい生活ができる様支援しております。		

ポテトタウン南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の行事や外食の選択、旬の食材や目で楽しめる食事を入居者様の能力や好みを反映できる様心がけています	食材会社の献立を基本に骨付きの魚などに変更し、骨を取って食べる能力を損ねないように工夫している。外食で海鮮食堂やフードコートに出かけたり、誕生日は寿司の出勤などを取ることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立はプロの栄養士によるバランスの取れたメニューになっており量や塩分はそれぞれに合わせて調整し、水分摂取量は一日確認出来るように一目でわかる様記録に示しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・昼・夕食後は口腔ケアの実施、夕食後に至っては義歯を預かり洗浄剤につけている。又、月に一度は歯科医が往診に来られ常に口腔内の清潔を保てるようにしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人の排泄感覚を優先し、極力失敗に繋がらないよう声掛けをしている。	利用者の状況に応じて排泄を記録して、適切な声かけでトイレでの排泄を支援している。時間帯に応じて排泄用品の種類を変更したり、自分でできる行為を行ってもらい自立に向けて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	夜勤者の送りから最終排便の日数を把握し、牛乳やヨーグルトの提供等でコントロールし、時には主治医と相談し薬を処方していただいています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日を決めて、要望があれば午前・午後の時間を選んでいただいています。希望・状態をみて、シャワー・足浴・清拭を行っております。	日曜日以外の午前中を基本に、一人週2回の入浴を支援している。身体状況に応じて足浴をしながらシャワー浴で対応することもある。保湿用入浴剤を使用したり、好みの湯温にして職員と会話をしながら入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝の目覚め、状態に応じ朝眠気が強い時は無理をせず居室にて休んで頂いております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時にDrより薬の処方内容を聞き、調剤薬局との連携で副作用・食材禁等を職員全員が把握し飲み忘れがない様徹底しております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・畑仕事・食器拭き・モップ掛け等のお手伝いを無理のない様職員と行い、ぬりえ・計算問題・新聞閲覧等個々の楽しみを引き出しております。		

ポテトタウン南の沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の散歩、行事等、外出は多く行っております。ご本人、ご家族の要望にはできるだけお答えし希望に沿って出かけるよう支援しております。	普段は、周辺や遊歩道などを30分程度散歩している。ドライブで昭和新山や千歳水族館、厚田や恵庭の道の駅など毎月遠方に出かけている。冬季も外食や雪まつりを車窓から見学するなど、年間を通して積極的に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時や会話などで、小遣いの範囲内で希望のものを選び購入しております。以前お一人で計算しながら購入した感覚を思い出して頂くよう支援しております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望であれば、電話をかけたり手紙がきたらご本人にお渡ししております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	極大凸凹した空間は撤去し、スムーズな導線にしています。行事などで捕った写真を貼り、出かけたことを思い出して頂けるよう、又四季を感じて頂けるよう支援しております	居間と食堂が独立したゆったりとした造りで、壁には利用者が作成した季節の塗り絵や外出行事の写真、今月の誕生日の利用者の似顔絵などが飾られている。台所は対面式になっており、食事の支度をしながら利用者と会話を楽しむこともできる家庭的な雰囲気になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1Fのリビングに大きなTVとソファがあり、みんなが集まってTVを視聴したり、職員とゲームをしたりと楽しんで頂ける空間作りに努めております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人に沿ってぬいぐるみやアルバムをみて過去の思い出を思い出して頂き傾聴してます	居室には温湿度計を設置して適切な環境に配慮するとともに、時の見当識の対応としてカレンダーを掲示している。縫いぐるみや写真、自分の作品などを飾り、ベッドや布団などの好きな寝具でゆっくり休めるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各場所に手すりを付けており安全に配慮しております。又、各自出着る事を把握し支援しております		

目標達成計画

事業所名 ポテタウン南の沢

作成日：令和 1年 12月 9日

市町村受理日：令和 1年 12月 17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	Bシートの活用案。その中でスタッフと話し合い必要事項等あれば作成する。	Bシートを活用しているものの作成月がバラバラである為一定の月を決めて作成する。	定期的に作成、前回のBシートをコピーし、変化を見ながら追記や更新を上書きする。その際色を変え変化を付けていく。	1ヶ月
2	35	全職員が3年に1回程度、救急救命訓練を受講できる様にする。	1年を通して職員全員受講できる様努力したい。	広報や、防災情報等PCで確認しながら順次職員を受講するようにする。	1年～
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。